



荒木てつ



岡村しん



宮坂良子



西村あつ子

一般会計予算組替え提案の概要

〈議会費・総務費関係〉

- (1) 議員報酬の引上げ中止 △437万円
- (2) 市長、副市長、教育長の報酬引上げ中止 △106万円

〈民生費・衛生費関係〉

- (1) ひとり親家庭への家賃補助制度を創設 800万円
- (2) 訪問介護など介護保険利用料を軽減 50万円
- (3) 生活保護受給者に夏季見舞金を支給 1,340万円
- (4) 低所得世帯にエアコン設置修理代を補助 500万円
- (5) 住民税均等割のみ課税世帯に3万円支給 2,700万円
- (6) 障がい者外出支援金引上げ対象を拡大 725万円
- (7) 有機フッ素化合物(PFAS)の検査を拡充 27万円

〈消防費関係〉

- (1) トイレカーを1台購入する 2,650万円
- (2) 感震ブレーカー購入設置費用に助成 600万円
- (3) 家具転倒防止器具の購入設置費用に助成 200万円

〈教育費関係〉

- (1) 中学校の修学旅行費を無償化 2,750万円
- (2) 不登校また私立小中学生等の学校給食無償化 4,780万円

* 必要財源1.66億円は財政調整基金から繰り入れ

3月26日の市議会本会議で、日本共産党は一般会計予算の組替え動議を提出、西村あつ子議員が提案理由の説明を行いました。動議は、著しい物価高騰が市民生活を直撃しているなか、本予算は市民生活をまもる取組があまりに不十分として余剰財源を活用



予算組替え提案を行なう
西村あつ子議員



岡村しん議員が予算組
替え動議賛成の討論

し予算組替えを行なうよう求めています。動議は、市長や議員の報酬引上げ分、計43万円を削除し市民生活支援に回すよう求めています。そして、国の給付金の対象とならない住民税均等割のみ課税世帯(推定約900世帯)に3万円の給付金支給やひとり親

予算組替えを提案 市長・議員等の報酬引上げを中止、市民生活支援を拡充 日本共産党市議団

家庭への月1万円の家賃補助、生活保護受給者への夏季見舞金の支給、災害時に避難所で安心安全にトイレが使えるトイレカー導入、修学旅行費の無償化、学校給食無償化の私立学校等への拡大などを求めています。

公明党議員から「動議にはどういった効果があるのか」との質問があり、西村議員は「動議が可決されれば新たに低所得者の支援が行なわれ市民生活が守られる、これが何よりの効果」と答えました。

自民、公明など予算組替え提案に反対し否決

日本共産党は岡村しん議員が「原案は、物

行ないました。

価の高騰で生活が苦しい低所得者層への支援があまりにも少ない。一方、予算組替え動議はひとり親家庭への家賃補助や低所得者へのエアコン設置補助、生保世帯への夏季見舞金、トイレカー導入や修学旅行費補助など盛り込まれている」と予算組替え動議賛成の討論を

しかし自民、公明などの反対により動議は否決。日本共産党以外のすべての賛成で、原案が可決されました。日本共産党は引き続き、市民のくらしを守る提案内容の実現に奮闘します。

子ども医療費窓口負担撤廃

都施策による余剰財源を活用

日本共産党が提案

予算には市民とともに日本共産党市議団が求めてきた、子どもの医療費窓口負担200円の撤廃やPFAS汚染の水質検査、学校への衛生委員会設置の拡充などが盛り込まれており、これらは市民とともに日本共産党市議団が求めてきた成果です。

日本共産党は、東京都による子どもの医療費助成の所得制限撤廃や給食無償化の交付金拡充による市負担軽減、約1億8700万円軽減を活用して子どもの医療費窓

口負担の撤廃や私立学校等の児童生徒の給食費無償化に踏み出すよう求めてきました。PFAS汚染対策の強化は市民運動が広がりました。

